



■ ロードマップの進捗状況や国の動向等を踏まえ、以下の方向性に基づき、ロードマップに基づく取組の加速化を図る

分野	今後の方向性
産業分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者との接点が多い金融機関等の関係機関との連携により中小企業者等の脱炭素化を推進していくことが必要</li> </ul>
業務分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、省エネ・創エネ設備導入の促進、環境負荷の低いエネルギーへの転換を促進していくことが必要</li> </ul>
交通分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者のZEV化を支援するとともに、県民がZEVを選択しやすい環境づくりを推進していくことが必要</li> </ul>
家庭分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な脱炭素の行動につなげるため、「とちぎカーボンニュートラル15アクション県民運動」のさらなる展開により、CO<sub>2</sub>削減効果やメリットについて県民への理解促進を図るなど、引き続き取組の強化が必要</li> <li>市町や関係機関と連携しながら住宅のゼロエネルギー化を推進していくことが必要</li> </ul>
非エネルギー分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>国等による革新的技術の開発等を注視しつつ、現在の取組を着実に推進していくことが必要</li> </ul>